

事業計画の概要

1. 事業の全体計画（変更許可申請時には変更部分を明確にして記載すること）

- (1) 事業の目的 産業廃棄物の処理を通して、生活環境の向上に貢献する。
- (2) 事業の概要 排出事業者との契約に基づいて、排出現場から発生する産業廃棄物を収集運搬し、積替え又は保管を行わずに、排出事業者の指定する処分施設等に運搬する。

なお、これらの詳細及び処理業務の受託等については、別紙事業計画書に記載のとおり。

※事業の全体計画の詳細は、記載例[8]を参考に記載してください

2. 取り扱う産業廃棄物（特別管理産業廃棄物）の種類及び運搬量等

	(特別管理) 産業廃棄物 の 種 類	運搬量 (t/月又は m ³ /月)	性 状	予定排出事業場の 名称及び所在地	積替え又は保管を行う 場合には積替え又は保 管を行う場所の所在地	予定運搬先の名称及び所在地 (処分場の名称及び所在地)
1	がれき類	10 t	固形状	〇〇建設解体現場 仙台市内一円	なし	××工業 仙台市A区B町1-1
2	汚泥	5 m ³	泥状	△△興業建設現場 宮城県A郡B町3	なし	◎◎環境 仙台市C区D町2-2
3	燃え殻	3 m ³	粉粒状	□□環境 仙台市C区D町4	なし	◇◇公社 仙台市E区F町3-3
4	廃酸	1 m ³	液状	☆☆産業 仙台市E区F町5	なし	▽▽処理 山形県G郡H町4-4
5						
6						
7						
8						
9						
10						

予定運搬先が市外のときは以下を添付してください。

- 処分施設の処分業許可証の写し
- 処分施設所在地自治体における申請者の収集運搬業許可証の写し

備考 取り扱う（特別管理）産業廃棄物の種類ごとに記載すること。

3. 運搬施設の概要

(1) 運搬車両一覧

	車体の形状	自動車登録番号 又は車両番号	最大積載量 (kg)	所有者又は使用者	備考
1	ダンプ	仙台11 あ11-11	10,000kg	株式会社□□興業	土砂等運搬 禁止車両
2	キャブオーバ	仙台11 い22-22	4,000kg	株式会社□□興業	
3	塵芥車	仙台88 う33-33	5,000kg	株式会社□□興業	
4	タンク車	仙台88 え44-44	5,000kg	株式会社□□興業	密閉型
5					
6					
7	船舶の場合は、「運搬車両一覧」を「運搬船舶一覧」、「車体の形状」を「船舶の名称」と読み替え、「自動車登録番号又は所領番号」欄及び「最大積載量」欄は空欄としてください。				
8					
9					
10					

土砂等運搬禁止車両については、がれき類等の収集運搬はできません。

事務所の所在地 仙台市青葉区〇〇×丁目×番×号

駐車場の所在地 仙台市若林区△△町××番1
※ 付近の見取図を添付すること。

(2) その他の運搬施設の概要

運搬容器等の名称	用 途	容 量	備 考
フレコンバッグ	がれき類の運搬	1 m ³	××個
ドラム缶	廃油の運搬	200ℓ	〇〇缶

(3) 積替え又は保管施設の概要

積替え又は保管行為は行なわない。

※ 構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び設計計算書並びに当該施設の付近の見取り図を添付すること。

4. 収集運搬業務の具体的な計画（車両毎の用途、収集運搬業務を行う時間、休業日及び従業員数を含む。）

- ・事業の概要 別紙事業計画書に記載のとおり
- ・処理業務の受託 別紙事業計画書に記載のとおり
- ・車両毎の用途
 - ダンプ : 紙くず、木くず、金属くず、廃プラスチック類
(密閉容器に封入のうえ) 廃油、廃酸、廃アルカリ
 - キャブオーバ : がれき類、紙くず、木くず、金属くず、廃プラスチック類
(密閉容器に封入のうえ) 廃油、廃酸、廃アルカリ
 - 塵芥車 : 廃プラスチック類
 - タンク車 : 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ
※異種の廃棄物を運搬する場合には、そのつどタンク内を洗浄する
- ・業務時間 8 : 0 0 ~ 1 7 : 0 0
処分施設等の搬入受付時間を遵守し、業務に当たる。
- ・休業日 土曜日、日曜日、祝祭日

従業員数の内訳

令和 年 月 日現在

申請者又は申請者の登記上の役員	政令第6条の10で準用する第4条の7に規定する使用人	相談役、顧問等申請者の登記外の役員	事務員	運転手	作業員	その他	合 計
(2人) 3人	人	人	(1人) 2人	(3人) 3人	(3人) 3人	人	(9人) 11人

5. 環境保全措置の概要（運搬に際し講ずる措置、積替施設又は保管施設において講ずる措置を含む。）

(1) 運搬に際し講ずる措置

- ・途中で飛散、流出しないようにシートをかけて運搬する。
- ・〇〇、〇〇、〇〇（液状・泥状・粉粒状のもの）については、ドラム缶、プラスチック容器等に封入した上で、その容器をワイヤーで荷台に固定して運搬する。
- ・石綿含有産業廃棄物はフレコンバッグに封入し、破碎しないようにして運搬する。
- ・水銀使用製品産業廃棄物は破碎することがないよう、また、他の物と混合するおそれのないように区分して収集・運搬をすること。
- ・万一、悪臭が発生した場合には、責任を持って消臭に努める。

(2) 積替え又は保管施設において講ずる措置

- ・積替え又は保管は行なわない。

(3) その他